

## 第3回 銚子市総合計画策定「市民ワークショップ」開催

平成29年10月17日（火） 銚子市保健福祉センター2階会議室

今回の市民ワークショップでは、これまでの議論に加え、市民や民間で取り組んでいる情報を持ち寄り、議論の「深堀り」を行いました。

### ワークショップのテーマ

#### ライフステージ（当事者の目線に立った議論）

グループ名	テーマ	主な要素	参加人数
グループA	生まれる・育つ	出産、子育て	8名
グループB	学ぶ	学ぶ場、学び方、街の将来	8名
グループC	働く	働き方、地域での生活	8名
グループD	老いる・死ぬ	老後、介護、最期の迎え方	7名

#### コミュニティ（当事者を取り巻く環境と支え合いをめぐる議論）

グループ名	テーマ	主な要素	参加人数
グループE	家庭・近隣	独り暮らし、近所の支え合い、地縁団体	7名
グループF	学区・生活圏域	地域拠点、地域活動、専門家活動	8名
グループG	産業・自然	経済活動、環境活動	9名
グループH	広域連携	近隣自治体、県・国との関係	9名

オブザーバーとして2名を加え、当日は66名の皆さまにご参加いただきました。

### ワークショップの様子





各グループのまとめ（一部を紹介します）



今回の総合計画づくりで大事なキーワードは“つなげる”  
 分野・世代・自治体を“つなげる”  
 様々なつなぐということをどのようにして膨らませていくかが重要です。  
 市民の皆さまが「力を発揮して行ける」そういう計画になっていくと思いますので、引き続き総合計画づくりを皆さまと協力しながら進めていければと思います。



次回（第4回）市民ワークショップは11月28日（火）の予定です

## 第3回 総合計画策定「市民ワークショップ」

平成29年10月17日（火）開催

各グループのワークショップで出された意見

### グループA 生まれる・育つ【出産・子育て】

主に「子育て」・「婚活」をテーマにした

#### 「子育て」

##### 「子育て中のお母さん」

- 銚子で生まれ育ち、大学進学時に東京に出た。外から地元を見ると改めて銚子の良さがわかる
- 銚子が好きだから、銚子に住んでいる方が大部分ではないか
- 銚子で子育てをすると何か特典があればよい  
(例) 温泉に無料で入れる、農産物がもらえるなどはどうか
- 銚子の良さを子育てなども交えて口コミにより発信できれば
- 現在、LINEを活用しているが、更なるSNSの積極的な活用の検討
- 使いやすい、利用しやすい子育て施設が欲しい  
(利用時間が午前中に限られていたり、事前予約が必要であったり現状は使い勝手が悪い。)  
(例) 東庄町の児童館は利用しやすい
- 市内には民間の施設を活用した子育てのコミュニティもある  
低額の利用料金(月額100円)で利用しやすい(ひよこくらぶ)
- 子育てのしやすいまちが、住みやすいまちであり、結果として人口の増加につながっていくのではないか
- 単におもちゃや遊具で遊ばせるだけではない魅力的な児童館があったらいい  
(専門家を招いて、「パステルアート」などのメニューの実施)
- 土日に関われる施設がない、一時預かり施設は使い勝手が悪い
- 子育て中のお母さんたちは疲れている。息抜きが必要、お母さん自身が病気になってしまったら大変
- 元気な高齢者に子育てに協力してもらえればという意見も以前にあったような気がしたが、知らない高齢者には預けづらいし、世代間ギャップもあり心配
- パパ・ママ学級があるように、ジジ・ババ学級があってもよい。自分の親も含め高齢者世代に育児の協力をしてもらうには、世代間ギャップ(子育て常識の相違)の解消を図っていく必要がある

##### 「子育て中のお父さん」

- 子育て世代の集まりやすい施設があるとよい。駐車場が必要となるので空き公共施設の活用は検討できないか
- 児童館の設置場所としてイオンモールはどうか
- 例示にもあるような「子ども食堂」のようなものがあるといい。「子ども食堂」に限らず、「子どもハウス」、「子どもステーション」といった宿題や習い事なども出来て、時間外にも集まれる施設



- が望ましい。併せて、循環バス等を運行し、交通アクセスの向上を図ってはどうか
- 子育て環境の充実が結果として銚子のPRにつながっていくのではないか
  - 子育て施設だけではなく、意見交換（コミュニティ）の場があってもよいのではないか

### 「大学生」

- 銚子の人口減少の要因は出生率の低さが原因。子育て環境の充実を図っていくべき

### 「婚活」

#### 「子育て中のお母さん」

- 農業関係の仕事をしているが、後継者はいるが一緒に働いてくれる配偶者がいないため、事業継続ができないという話を聞いた。農業などに特化した婚活支援を検討できないか
- 銚子で農業をしてみたいと思うようなモニターツアーを実施してはどうか
- 都会の人に土いじりの素晴らしさを知ってもらいたい

#### 「子育て中のお父さん」

- 自分は婚活事業を通じて結婚することができた。結果として市外からの移住にもつながった
- 婚活支援事業の参加者が少ないように聞く。効果的な情報発信も必要
- 婚活支援には出会いの場の創出が重要。地方だけではマッチングに限界があるため、民間の婚活事業者などとも連携を図っていきたい

### 「その他」

- Q 結婚や子育てという大学生が普段意識しないことに対して自分の将来をどのようにイメージしているのか伺った
- 現在、付き合っている彼女もいる。大学を卒業し、2～3年後には結婚を意識したい
  - まだまだやりたいことがあるので、現時点では結婚はイメージできないが、将来的には結婚したいと考えている

※別紙（あったらいいな！こんな取組）あり

## グループB 学ぶ【学ぶ場・学び方・街の将来】

主に「国際交流」・「外国語教育」をテーマにした

### 「なぜそれが必要か」

- 子ども達は早いうちからたくさんの国の人とふれ合うことにより世界を広げることができる
- 色々な国の言語にふれることにより色々な事に興味を持ち、個々の知識を広げることができる
- 海外からの観光客が増加しているので、ホテルや観光施設などで英会話等のスキルを求められることが増えていくため  
（外国語でのガイドが必要となっていく、外国語の苦手意識をなくす）
- 色々な国の方に“てうし”（銚子）の良さ、JAPAN（日本）の良さを伝えていくため

## 「カネ」

○国木田独歩の小説を英訳して販売する（Moneyをつくる）

## 「どんな人材とどうしたらよいか」（ヒト）

- 英会話教室等の経営者との連携
- 国際交流協会の活用（各学校・園（所）等との連携）
- 千葉科学大学の先生方（日本語教室）
- セレクト市場の大学エクステーションセンターの外国人
- 現在銚子にいる外国人との交流
- 大学生と小学生の交流
- 留学経験のある市民
- 各国の専門家によるレクチャー
- 段階別の外国語教室  
（書くではなく話す・聞くのふれあう教育）

## 「どんなものがあるといいか」（モノ）

- 外国語での掲示板や観光案内（ジオパーク等）道案内等
- 外国語での料理教室
- 各国の料理教室（外国語での簡単なレシピ）
- 小学校等で日本の手遊びや各国の簡単な遊びでの交流会
- 国木田独歩など銚子にゆかりのある文化作品の外国語での発信

## グループC 働く【働き方・地域での生活】

主に「U・I・Jターン希望者の生活面での受け入れをサポートする」・「地域の産業やお店を盛り立てよう利用する」をテーマにした

- U・I・Jターンの方限定の寮、シェアハウス
- U・I・Jターンの方限定の金融機関での低金利ローンサポート
- U・I・Jターンの若者には出世払いで資金を貸与する
- 職業体験施設（幕張にあるキッザニアの大人版の様なもの）
- 空き家、空き店舗を無料で提供する
- 起業家に地元金融機関がファンドをつくりましょう
- 若い人が銚子で働いても良い、銚子で暮らしても良いと思えるような良い条件を出していく取り組み（家賃を安くする、職場を斡旋する、福祉が充実している、子育てがしやすい）
- 仕事に限らず、若者が帰ってきたいと思う魅力的な商業施設や遊ぶ所もないので、そのような施設を作ってもらいたい
- 銚子ならではの食材や手法、産業をアピールできるような体験教室
- バスを増やしたりして、若い人が銚子でも働きやすくする
- 街灯を増やす、植物を増やす等、明るい外観づくりをする、若い人の目にとまるような外観、海や港を生かしたおしゃれな外観
- SNSの活用、SNSを通じて広く周知して頂けるような工夫。画像の拡散等で割引などの銚子

で楽しめるような工夫

- お店の看板メニューをPRする、SNS映えするものを考える
- 観光資源の活用（屏風ヶ浦の景色など・・・風光明媚な場所は多い）
- 事業承継（事業承継求む！情報雑誌の作成！）
- 働き方改革で金融機関の方が積極的に、まちにであるく
- 廃業するような情報をいち早く受け取れるシステムを作り、引き継ぐチャンスを求職者に与えるしくみづくり（取引先の金融機関が行政や商工会議所へ情報提供）
- 空き店舗があるのはさみしいので、千葉科学大学の学生に週末カフェなどをやらせてみる
- 地域の産業（お店）を市民自身が必要
- グルメマップを作る（市民もお店をよく知らないのではないか）
- 地区ごとのお店・産業を知らせるマップを作成し、設置する
- 「おもてなし」の心が銚子に欠けている！？
- 銚子屋台村をつくる（夕方～夜まちに出歩く人が少ない）
- 地域のお店が残れるような相談を行政もしてあげる
- 後継者がいない又は人を使うのに疲れてしまった、お店を直す費用が大変で辞めている人もいるので続けられるように人材・金などでサポートをしていく
- 犬吠WAONカードを利用すれば、その一部が寄付として収入になるので、イオンだけでなく街中のお店でもっと使えるようになればいいと思う

## グループD 老いる・死ぬ【老後、介護、最期の迎え方】

「自分が老後を迎えたらどうありたいか」をテーマにした

「現状・背景」

- 少子高齢化が進む
- 独居の方が増える
- 一人でさみしい  
（家でボーッとする⇒外に出ない⇒体力低下⇒寝たきり）
- 老老介護  
（ヘルパーの方も50代から70代の方が多く、10年後どうなるか不安）
- 孤独死
- 社会保障大丈夫？
- 孫に会えなくて寂しい
- 隣近所の顔が見えないところも
- インターネット文化、スマホ世代の若者
- 現在の問題を見出せているのか？
- 10年後に健康でどう生きていくか

「自分の老後どうしたい」

- 健康第一
- 今よりももっと元気に
- 生きがい的大事

- お金に困りたくない
- 家族・地域とのつながり
- ふれあい楽しい老後  
(老後は、ボランティアや同じ趣味の仲間と過ごしたい)
- 自分らしく生活をしながら老いる
- 老後必要とされるような人生、豊かな老後を過ごしたい
- 病気があっても楽しく生きて死ぬ

### 「自分で何ができる」

- 日々の健康管理
- 近所との積極的な交流
- 職場以外の人とも、もっと交流する
- 銚子市の全医療者交流会
- 積極的な参加
- 薬局として地域イベントを開く
- 自分らしく生きる・死ぬってどういうことかを考える  
(健康で一生を終える方、病気・事故等で亡くなる方、内向的な方、外交的な方)
- 個々に合ったケアが必要

### 「協働」

- 地域でイベントを企画
- 三世代が交流できる場（ふれあいの場所づくり）
- 子どもと高齢者の交流
- 近所の現状を知る（高齢者への声かけ等）
- 高齢者が外に出るきっかけづくり

### 「行政がすべきこと」

- 介護施設の充実・環境づくり
- 乗合タクシー・バスがあるとよい  
(将来的に自分で運転が出来なくなるため)
- 充実した介護施設
- アクティブな高齢者の雇用を生む
- 若い世代が銚子から離れないための環境づくり  
(住みやすい環境づくり、銚子の魅力をPRする)
- 介護士手当
- 持続可能な社会保障の維持
- 今こそ子育て支援を充実させるべき  
(生産年齢人口が増えるよう、子どもが増えるよう)
- みんなへの周知・広報活動
- 市内の高齢者のいる世帯の現状把握と問題を見つけ出す

## グループE 家庭・近隣【独り暮らし・近所の支え合い・地縁団体】

地域に対して感じていることを掘り起し、グループのテーマに沿った議論を行った

### 「現状・背景」

- 子ども・母親のコミュニティが無い
- 共働きで土日休みのため、「子育て広場」がやっていない
- 剣道を習わせたいが、教室等の所在がわからない
- きれいで広い公園が少ない
- （留学生）銚子に来たが日本人と知り合う機会が少ない
- 高田川の美化等、イベントを開催しているが参加者が少ない
- 西部地区の盛り上がりがイマイチに感じる
- （引っ越しをしてきた）当初、地域に馴染めず、葬式のしきたり等もわからなかった

### 「コンセプト」

- 「多世代のコミュニティづくり」町内のご近所グループだけではなく、興味や目的を共有した「ご近所コミュニティ」を重層的につくる。
- 想い（自分の意識）→ムードを高める→形

### 「行政がすべきこと」

- 地域コミュニティ内の「見える化」を進める制度づくり
- 広報や公共施設等と連携した情報発信方法や地図づくりを工夫する（SNSの発信）
  - ・子育てLINEを通じた母親のコミュニティ情報発信
  - ・オリジナルハザードマップの作成等
- 「西部地区」の盛り上がりテーマに市職員や若手プロジェクトチームから意見聴取

### 「市民や地域にできること」

- 活動の「見える化」
- 大学生を受け入れる機運醸成  
（大学生や若者層が地域に飛び出す）
- 町内のイベント等に学生が参加していることを拡散  
（参加の門戸拡大）
- 地域のサークル活動に対する支援（各町内会）
- 親子ワークショップの充実＝民間

### 「協働」

- 状況の「見える化」
- 助けてステッカー・大きなお世話ステッカーの作成  
（状況と情報を結びつけるための働きかけ）
- 地域コミュニティづくり
- スポーツや漫画を通じたコミュニティづくり（参加のハードルを下げる）
  - ・青年館×マンガ喫茶



- ・スポーツ×地球×everyone
- ・地域のスポーツ有識者と移住者、若者層、高齢者を結び付ける連携
- ・銚子に「モノ」がなければ「ヒト」を発掘する仕組みを考えていく
- ・地域のスポーツが得意な高齢者が教えて子どもや新しく銚子に来た方が参加できるコミュニティづくり

（世代を超えた情報共有の場 例：高田川の情報拡散や母親の和をつくる）

- 地域のコミュニティをプラットフォームに。各世代のニーズを満たす
- 若年層は自分を必要としてほしい、活躍の場所がほしい  
（高齢者や子ども達にスポーツ、IT（簡単なSNS）のレクチャー）
- ママに寄り添う場所や時間 ⇒ 場所の提供・良い口コミ

### 「課題」

- 銚子市全体で地縁団体のコミュニティ活性化を図る
- 町内ごとで地域づくりの取り組みに差が出てしまう
- 「インフルエンサー」とのマッチング  
（インフルエンサー：世間に与える影響力が大きい行動を行う人物）
- 「見える化」の推進
- 世代を超えたITの活用が必要となる  
（高齢者でも端末の操作を諦めないよう、難しく見せない工夫を考える）
- 農家の男性＝婚活（≠女性 銚子で農業をやってみたい）

### 「その他」

- ワークショップの際に銚子市の地図があるといい

## グループF 学区・生活圏域【地域拠点・地域活動・専門家活動】

「子どもが幸せに育つためにはどうしたら良いか」をテーマとし、シートに沿って議論を行った。

### 「取組名」朝の子ども食堂

- 子どもに朝ごはんを提供する「場」を設ける
- 食堂として廃校や廃園を利用することで、空き公共施設の有効活用につながる
- 各学区や各地域に1か所ずつ設けることで、地域のつながりの拠点となりえる

### 「なぜそれが必要か」

- 共働き世帯の増加に伴い、朝食をとらずに登校（登園）する子どもが増えている
- 家族が食卓を囲んで一緒に朝食をとる環境が失われつつあり、コミュニケーション不足の状況にある
- 食事をする「場」をつくることで、それ以外の多くの波及効果を期待できる

### 「ヒト」

- 働き手として、高齢者や障害者、夏休みなどは小学生・中学生・高校生・大学生にお願いすることで、様々な交流が生まれる

○時間帯に応じて利用者を変更しても良い。例えば、日中は対象を独居老人とすることで、交流を図るための場にもなる

※事業主体について、具体案としてはまとまらなかったが、漁業者や農家といった一次産業に従事する方が担うことで、食材の提供やPRにもつながるとの意見あり

### 「カネ」

○非営利の場合は、寄付金のほか利用者から応分の利用料を徴収する

○市が負担するより、皆が出し合って支え合うことが大切

### 「モノ」

○食材に銚子の名産物を使用することで、名産物のPRや市外からの集客にもつながり、より広域でのコミュニティ形成が図れる

○食材等は提供者を募る

### 「行政に協力してもらいたいこと」

○「場」の提供

○周知・人集め・継続のためのサポート

### 「その他」

○毎朝では金銭面や働き手の面から継続が困難となるため、週1回、月1回程度開く

○廃校や廃園を利用する場合、多額の修繕費が発生する可能性がある

○寄付金やボランティアのみでは運営が不安定。継続していくためには利益を生み出す必要がある

○集客や食堂の持続的な運営のための起爆剤として、定期的にスポーツ（文化）イベントを開催する

○食堂から各学校や各園への送迎ボランティアなど、子ども食堂を核として新たなボランティア事業も生まれてくる

○食堂から各学校への登校のためにスクールバスが必要となる

○給食のように、各学校で朝食を取り入れても良いのではない

※別紙（あったらいいな！こんな取組）あり

## グループG 産業・自然 【経済活動・環境活動】

主に「インスタ映えする景色やモノで人を集める」・「環境活動で自然がきれいになれば人が集まる」をテーマとし、シートに沿って議論を行った。

「取組名」環境活動で人が集まる観光地を創る

### 「なぜそれが必要か」

○西部地域を誇りが持てる地域にする

（西部地域を知らない人が多いので、この機会に知ってもらいたい）

○若者が関心を持つ「インスタ映え」する観光地にしたい

○地域活性化につながる環境活動を行いたい。それには自分たちの活動を知っていただき、ぜひ現地へ足を運んでいただきたい

### 「ヒト」

- 伝える人がいないと魅力が伝わらないので、市民ボランティア“地域以外”の方を巻き込みたい
- きれいな自然を維持するには月に1回程度のボランティア活動（清掃）が必要（足りない資源は“ヒト”）
- ホテル見学などが人気になった場合は、新たなボランティア団体も結成可能（余山貝塚美化の会と高田川と共生する会 ⇒ ホテルを見る会など）

### 「カネ」

- 行政の支援（アダプト・プログラム）※市民と行政が協働で進める清掃活動
- ふるさと納税

### 「モノ」

- 清掃活動などに使用する機材は個人の物を使用している

### 「関連する現在の取組」

- アダプト・プログラム
- 歴史文化基準構想

### 「行政に協力してもらいたいこと」

- 案内板の整備（犬吠埼方面に観光案内板を設置してほしい）
- インスタを見ても銚子はほとんど出ていない、観光パンフレットには有名な所しか掲載されない  
ので、高田川や白石ダムはどこにあるか分からない  
（情報発信 ⇒ 協働でできるかも？）

### 「その他」

- 農家の方の協力（農薬、除草剤等でホテルなどが死滅してしまう）
- 観光地はリピーターをつくることが大事。  
（自分たちには、当たり前（つまらない）モノでも外の人が見れば興味を持つ場合あり）  
例：サケが遡上する姿を神栖市や山武市から見に来た人を案内したことがある
- 自分たちではインスタのやり方が分からないので若い人の協力が必要  
（場所“モノ”はあるが、情報発信ができていない）
- 交通の便（観光地をつなぐ）
- 観光地でない場所を観光地に（余山貝塚～高田川～中島城～白石ダム～野尻古墳）
- おしゃれなカフェをつくる  
（魅力のある食べ物が一つあれば学生や若者は、それを求めて来ると思う。値段はそれほど気にしていない、値段以上の物や見た目があれば人気がでると思う）
- 花の名所があれば人を呼ぶことができる（潮来のあやめが良い例）

※別紙（あったらいいな！こんな取組）あり

## グループH 広域連携【近隣自治体・県・国との関係】

主に「利根川の活用」・「国際交流」をテーマとした

### 「利根川の活用」

○災害時には「陸路」が遮断されることが想定されるため、昔から活用していた「利根川」や「海」を活用する

○災害時だけでなく、観光面での活用も考え「水陸両用バス」の活用や「ホバークラフト」の活用も検討する

○東京都の災害時の備蓄倉庫を銚子に建設してもらう（冷凍庫等の活用が可能）

○海外からの支援船を受け入れる場所として銚子の港を活用してもらう

○国や東京都を巻き込んで、予算を投入してもらい河川の整備や港の整備など受け入れる体制を作る

○突飛な発想を持たなければ、銚子の再生はあり得ない

### 「国際交流」

○銚子市には、科学大の留学生、水産業・農業の実習生など多数の外国人が暮らしているが、外国人同士のつながりが少ない

○留学生は大学がコミュニティの場となっているが、就労目的の外国人にはそういう場が無いので、国際交流協会がそういう場となることを望む

○留学生に「観光大使」のような役割を持たせ、自国へ銚子のPRをしてもらう

○外国人に定住してもらうための取り組みを考える、まずは仕事！

○外国の企業を誘致する

○外国の方を受け入れるための取り組みが必要

ハード面：市内の案内看板や各店舗の看板等

ソフト面：おもてなしの心、市民国際性

○地元の祭り・盆踊り等に外国人が参加できる仕組みづくり（着物、浴衣等外国人が好む）

○空き店舗、空き公共施設等を活用して「日本語教室」を実施する

○高校生が日本語を教える代わりに外国語を学ぶ（ボランティアでの日本語指導）



班名	A	あったらいいな！こんな取組（婚活・子育て環境）	
取組名		目指せ！！魅力的な児童館	農家の男性の婚活について
なぜそれが必要か		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個の時間の確保</li> <li>・ 母子分離</li> <li>・ 入所入園前のお母さんが子どもを預けられる場所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業の跡を継いでくれる人を増やし子供を増やす</li> <li>・ 銚子の中でも農業に携わっている若者が減っている</li> </ul>
ヒト		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パステルアートなどの講師</li> <li>・ 保育士、保育補助者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政、民間業者、消防団</li> <li>農協の人、他県の人</li> </ul>
カネ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の一部負担</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の一部負担（農協・行政）</li> </ul>
モノ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵本やおもちゃ（寄付）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実際の農場での体験</li> </ul>
関連する現在の取組		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育て広場（クレパスランド）</li> </ul>	
行政に協力してもらいたいこと		場所の提供 市の子育てラインでの情報発信	
その他（課題など）		人口減少	

班名	F	あったらいいな！こんな取組	
取組名		『朝のこども食堂』をつくる	子供が幸せに育つ方法
なぜそれが必要か		共働き世帯が増えることに伴い朝食を摂らずに登校・登園してくる子どもが増加。食事をする『場』をつくることでそれ以外の多くの波及効果を期待できる。	
ヒト		事業主体・中心になるヒトは良い具体案が出なかった 働く人は高齢者、障害者。夏休みなどは中・高・大学生（小学生も）	
カネ		非営利なら・・・利用者から応分の利用料（生活困窮者は？）	
モノ		食堂は現在空き教室になっている学校の一部 廃校・廃園になった所 ⇒ そこから登校・登園するスクールバス等も必要 (各学区・地域ごとに一ヶ所ずつできれば地域のつながりの拠点になりえる)	
関連する現在の取組			
行政に協力してもらいたいこと		「場」の提供・周知・人集め・継続の為のサポート	
その他（課題など）			

班名	G	あったらいいな！こんな取組
取 組 名		環境活動で人が集まる観光地を創る
なぜそれが必要か		西部地域を誇りが持てる地域にする 若者が関心を持つ「インスタ映え」する観光地にしたい
ヒ ト		市民ボランティア “地域以外”の方を巻き込みたい
カ ネ		行政の支援（アダプト・プログラム） 市民と行政が協働で進める清掃活動 ふるさと納税
モ ノ		個人の機材を活用している
関連する 現在の取組		アダプト・プログラム 歴史文化基準構想
行政に協力して もらいたいこと		案内板の整備 情 報 発 信 ⇒ 協働で出来るかも
その他（課題など）		農家の方の協力（農薬、除草剤等でホタルなどが死滅してしまう）

## 第3回市民ワークショップ講評

### 千葉大学 関谷教授

皆さんお疲れ様でした。今日から「深掘り」をしていくといった作業が始まりました。

どうでしたか皆さん、色々と意見交換を行い「深掘り」をすることによって具体的なイメージが見えたのではないのでしょうか。

例えば、子育てと農業を結び付けると色々な視点が出てくる。それをやっていくためには婚活も必要だし、農業の魅力を高めないといけないし、更には後継者をどのように育成していくか。あるいは銚子の農業がどれだけ魅力的か。どのように外側に見せる視点を創り出すか。

「深掘り」をしていけば行くほど、色々な必要性が出てくるし、仕掛けどころが見えてくる。これが大事。深めていけば行くほど“子育て”ということだけで自己完結している場合ではなくて色々な観点から考えなくてはいけない。

子育てにおいて、銚子から神栖に人が流れていくという話はよく聞く。しかし、銚子か神栖か二者択一なんのでしょうか。という視点もある。

例えば、広域連携という視点から考えていけば、銚子と神栖は生活圏という部分でかなりオーバーラップしている。二者択一ではなく、広域連携として“子育て”をどのように創り出していけば良いのかという視点も出てくる。

そこで、広域連携として行政はどういう事ができるのか、市民としてどのような支援ができるのか、これらがどんどん膨らんでいく。計画で大事な点はこのつながり。

下手な計画は、全部がバラバラ。行政も縦割り、市内の色々な動き、アイデア、提案がされても全てがバラバラ。せっかく良い提案がされても周りには全然協力しない。これでは街は良くなるらない。

今回の総合計画づくりで大事なキーワードは“つなげる”ということ。

分野を“つなげる”世代を“つなげる”自治体を“つなげる”様々な、つなぐということとをどのように膨らませていくか。今回の総合計画は、そういったことをどんどん銚子のまちづくりの中で展開してほしい。今は基本構想を念頭に置いていますから、まずは土台づくりです。

次回、素案を示して皆さんにまた、ご意見をいただこうと思いますが、今申し上げたように広がりやつながりということとをこれからのまちづくりとしてやっていく「土台」これを基本構想と言い、名前が難しく、繰り返してなってしまうかもしれませんが、「土台」あるいは、「フレーム」なんです。そういうことを今年度はしっかり議論をして積み重ねる。

そして、冒頭にも申し上げましたがこのワークショップは、今年度で終わりではなくて次年度も続いていきます。今日も色々な個別具体的なアイデアが沢山出ています。

基本計画づくりの中でも、もっとアイデアをいただいて、どんどん盛り込んでいく、



繋がりを見つけていく。そういったことをすることにより血の通った計画になる。そして何よりも市民の皆さんが色々な力を発揮していける、それを誘う、きっかけを開いていく。そういう計画になっていくと思いますので、ぜひその方向性を目指しながら、引き続き、総合計画づくりを皆さまと協力しながら進めていければと思います。

今日は多くのアイデアが出てたと思います、本当はもっと共有できる時間があってもいいとは思いますが、これはとにかくストックしていきます。今日まだまだ議論しきれない部分もあるかと思いますが、とにかく議論を積み重ねながら展開していくということが大事。この方向性を目指しながら引き続き、ご協力いただけたらと思います。

今日は本当にお疲れ様でした。